

今、何の病気が流行しているか！

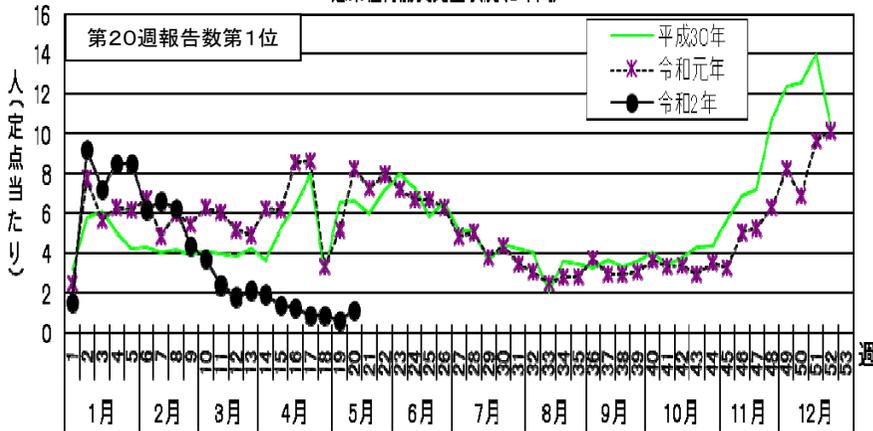
【感染症発生動向調査事業から】

令和2年5月11日（月）～令和2年5月17日（日）〔令和2年第20週〕の感染症発生状況

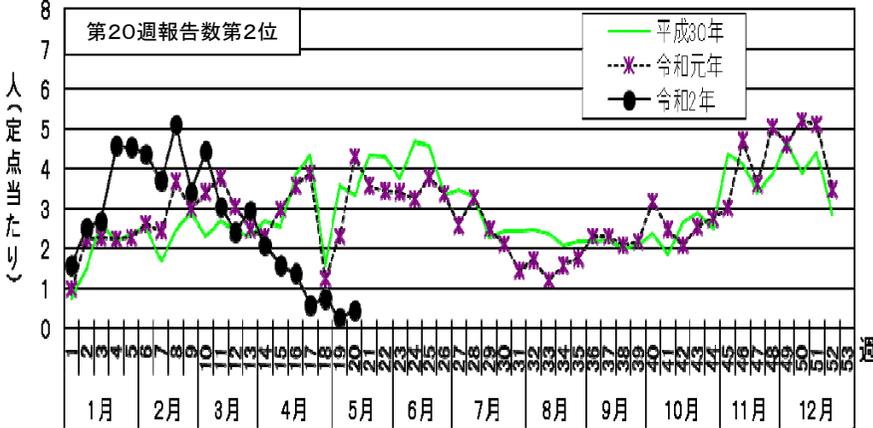
第20週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.14人と前週（0.62人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.46人と前週（0.30人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.38人と前週（0.22人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



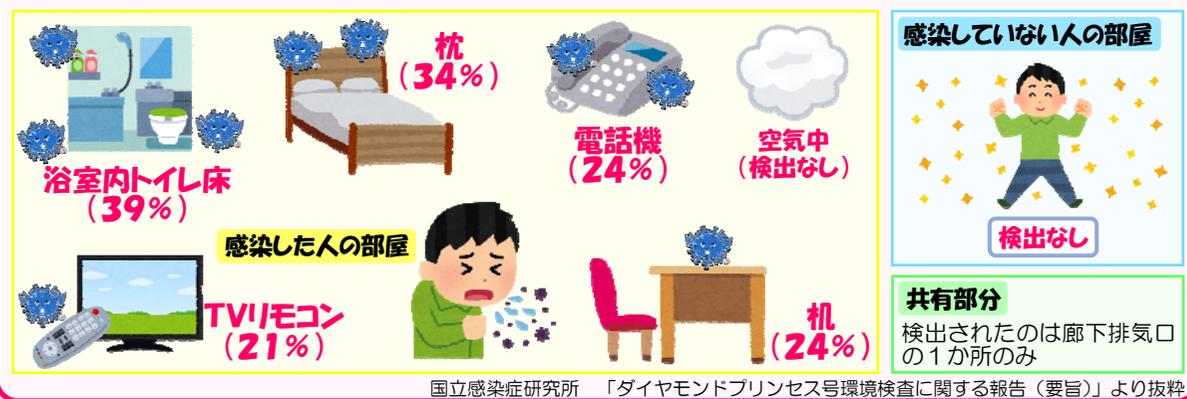
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



室内での感染予防対策！～新型コロナウイルス感染症～

新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は飛沫及び接触感染です。
 クルーズ船における新型コロナウイルスの環境汚染調査報告によると、感染した人が滞在した部屋では、浴室トイレの床（39%）、枕（34%）、電話機（24%）、机（24%）、TVリモコン（21%）などでウイルスの検出率が高く、感染した人の顔に近い部分やよく手が触れる箇所は汚染されやすいことが判明しました。また、部屋の空気中からはウイルスは検出されず、共有部分で検出されたのは廊下排気口の1か所のみでした。
 環境からの感染を防ぐためには、日常的な手指衛生を心がけるとともに、一般的な感染症と同様にこまめな清掃や消毒を行うことが重要です。

新型コロナウイルスの室内での検出状況



国立感染症研究所 「ダイヤモンドプリンセス号環境検査に関する報告（要旨）」より抜粋